

J R関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会

開催結果（第22回）

1. 日 時

令和4年2月16日（水）午後15時30分から午後17時20分まで

2. 場 所

オンライン開催（一部、京都府公館 4階 第5会議室）

3. 出席者：委員18名（うち代理4名）、オブザーバー2名（うち代理1名）

4. 議題等

(1) 報告事項

報告第1号 相楽東部広域バスダイヤ改正

報告第2号 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（中間案）に対する
パブリックコメント結果

(2) 協議事項

協議第1号 計画策定スケジュール（シンポジウム日程）

<承認>

協議第2号 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（最終案）

<承認（一部修正）>

5. 主な発言

報告第1号 相楽東部広域バスダイヤ改正

- ▶ 昨年10月に関西本線等のダイヤ見直しを行ったが、今年の3月においても、朝・夕ラッシュ時を中心に見直しを行っている。運行本数の減少はないが、列車のパターン化、運行間隔の調整を行っている。
- ▶ 和東木津線も、相楽東部広域バス同様、JRのダイヤ見直しに合わせて、ダイヤを改正するのか。
⇒和東木津線についても、JRのダイヤ見直しに合わせて、3月12日にダイヤを改正する。

報告第2号 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（中間案）に対する
パブリックコメント結果

協議第1号 計画策定スケジュール（シンポジウム日程）

協議第2号 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通計画（最終案）

- ▶ パブリックコメントの意見を踏まえ、計画のどこを変更したのかがわかるようにして欲しいが、現在の資料ではそれがわからない。
- ▶ 計画を変更していないのであれば、パブリックコメント結果の公表資料の最初に、

計画において既に含まれている旨を記載した上で、意見毎に具体的に考え方を示した方が良い。

⇒パブリックコメントの意見は、計画書においてすべて含まれていたため、特に変更はしていない。

⇒考え方の書きぶりについて、わかりやすく書き直すこととする。

- パブリックコメント結果を公表するタイミングはいつなのか。
 - ⇒パブリックコメント結果については、計画策定と合わせて公表する。
- 計画において、デマンド交通を実際実施するかどうかは現時点では言い切れない。南山城村ではデマンド交通が実施されているが、笠置町や和東町の地域内交通においてデマンド交通が適当なのかは見極める必要がある。
- 計画の冒頭で計画が実現した時の将来の姿が示されていることは、大きなことだと思っている。今後、関係者で夢のある話ができることは良いと思っている。
- 交通事業者に対する最大の支援は、地域の皆様に利用してもらうことだと思っている。またそれが交通事業者の育成に繋がっていくのではないかと感じている。
- 気づいた時には利用できる交通機関がなくなっていたというがないように、地域の皆様に地域交通に対する意識醸成が必要である。
- デジタル化の推進もある一方で、交通総合案内窓口（コンシェルジュ）を設置して、地域の玄関口でコミュニケーションを通じて、様々な相談や案内を行う取組は新たな視点であり、重要な機能強化ではないかと感じている。コンシェルジュの設置により、公共交通を利用するきっかけになると思う。
- 移住・定住促進施策やワーケーションの取組などとの連携については、将来像の実現に向けた施策方針として、基本方針の④と⑤に矢印がされているが、具体的にどういうことをイメージされているのかを教えてください。
 - ⇒移住・定住促進策として、古民家の活用等が進められているが、自家用車が前提になっているように感じている。このため、情報発信の強化やM a a Sの導入により、公共交通の利用促進に繋がれば良いと思っている。
 - ⇒相楽東部地域では、地域住民しか利用できない公共交通もあるため、交通再編を通じて、地域住民だけでなく、来訪者も利用できる取組ができないかという趣旨で、施策方針に含めている。
- 来訪者に対して自家用車だけではなく、公共交通でも行けることをアピールする必要がある。また定住においても、小さい子どもを連れて移住してきた家族が、子どもが高校生になるまで住めるようにする必要がある。

まとめ

- これまでのことをまとめると、パブコメの対応としては、計画そのものの修正はなしとし、考え方の書きぶりをわかりやすく書き直すこととする。
- スケジュールについては、特に変更しないこととする。

- シンポジウムは1月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し延期とした。シンポジウムは地域の人に参加してもらいたいと考えているため、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いた時に調整することとする。
- 本編については、概ねこのままで良いが、追加すべき点としては、言い回しの部分であり、事務局で検討することとする。
- 概要版については、1ページ目で計画の目的や地域の公共交通の現況、実施してきた主な取組が示されてるが、1ページ目では基本方針を示し、4ページ目で主な取組について示すようにする。またこれから計画で何を進めるのか、わかるものとする。
- 目指すべき将来像については、計画を進めた結果、どうなるのかを示した方が良いため、地域の皆さんが良いと思うものを事務局で考えてもらいたい。
- 地域公共交通サービスの構築に向けた課題で、地域で暮らしながら、大阪市、奈良市、京都市、関西文化学術研究都市方面へ通勤・通学できる公共交通サービスの整備とあるが、その中に伊賀市も入れてもらいたい。
⇒地域公共交通サービスの構築に向けた課題において、伊賀市も追加することとする。
- 計画書の大まかな部分については、了解をいただいた。マイナー部分については、事務局で調整し、最後に書面協議を行い、委員全員で最終確認をした上で、計画策定する流れで進めていくこととする。
- 書面協議については、2月下旬から3月上旬に実施予定である。

以上